

---

---

田辺市探究型バイリンガル小・中学校  
事業計画書

---

---



一般社団法人ワカヤマスコロボ


仙石恭子

2023年 2月 作成

# 目次

- 1 事業提案者 / 立ち上げメンバー
- 2 学校概要
- 3 教育理念
- 4 カリキュラムイメージ
- 5 うつほの杜学園の将来ビジョン
- 6 学校カリキュラム・特徴比較
- 7 授業料・給与シミュレーション
- 8 生徒数・教職員数シミュレーション
- 9 活動収支シミュレーション
- 10 必要な資金と調達方法
- 11 資金調達・助成金案
- 12 設立スケジュール
- 13 入学想定者・教育移住によるまちへのインパクト
- 14 全国の学校事例
- 15 教育・学校意識調査ワカヤマスコラボ独自アンケート
- 16 活動の軌跡



## 1.事業提案者

業種	私立小学校・中学校	創業予定時期	2025年4月目標
団体名	一般社団法人ワカヤマスコラボ 和歌山県和歌山市岡山丁84		
代表者名	仙石恭子		
創業の目的・動機	<p>学校創業の目的は、「学びでまちと人を元気にすること」である。社会のグローバル化により多様性、地球との共存が叫ばれるVUCA時代において、地方にこそグローバルな視野と一個人の強みとなるローカルな視野を持ったグローバル人材が必要であると考え。また、良い自然環境で、小さい頃から子どもが主体となった探究的でグローバルな教育を受けさせたいという親の要望と需要は和歌山県をはじめ、全国的に高まっている中、働き方改革が進む今日において、探究型のバイリンガル学校を和歌山の自然と歴史、文化豊かな立地に設立することにより、和歌山に新たな教育の選択肢を増やすのみならず、県外からの教育移住も生むことにより、地域活性にも大きく繋がり、学校を中心とした地方創生の新たなモデルケースを生み出すことにも繋がると考え、事業の立ち上げを目指すに至った。</p>		
	年月	内容	
	1998年3月	近畿大学附属和歌山中・高等学校卒業	
	2002年3月	慶應義塾大学環境情報学部卒	
	2002-2004年	株式会社IDEE TokyoDesigner'sBlock実行委員長	
	2004-2006年	Tanja Solci Studio イタリア・ミラノのデザイン・プレスオフィス アシスタント	
	2007-現在	株式会社仙石 取締役 酒販部・BIANCOROSSO イタリア・スペインワインの輸入販売	
	2016年-現在	個人事業としてBIANCOROSSO東京店立ち上げ	
代表者の略歴			
過去の事業経験	<input type="checkbox"/> 事業を経営していたことはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあるが、既にその事業をやめている。 (→やめた時期:                      年                      月)		
資格取得	IBEC国際バカロレア教員認定証 2023年3月取得予定		
知的財産権等	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 有(                      (    )    申請中 <input type="checkbox"/> 登録済)    )		

発足メンバー

<p>小佐田裕美</p> 	<p>一般社団法人ワカヤマスコラボ 理事/スクールカウンセラー</p> <p>わかやまエデュケーションシステム代表/選択理論心理士 岐阜県出身。和歌山大学システム工学部卒。一児の母。 アチーブメント株式会社(人材教育会社)にてシステムエンジニアとして勤務後、和歌山市へ家族移住し「教育×ICT」で起業。幼児・小中高生向けのプログラミング教室を運営しながら、公立学校のICT授業の支援員として勤務。心理士として、子育てセミナーの講師や研修講師なども務める。</p>
<p>石川一郎</p> 	<p>カリキュラムマネージャー / 学校法人 理事候補</p> <p>早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業。暁星国際学園、ロサンゼルスインターナショナルスクールなどで教鞭を執る。前かえつ有明中・高等学校校長。「21世紀型教育」を研究、教師の研究組織「21世紀型教育を創る会」を立ち上げ幹事を務めた。</p>
<p>安居長敏</p> 	<p>教育・カリキュラムアドバイザー</p> <p>現職ドルトン東京学園中等部・高等部 校長 元沖縄アミークスインターナショナルスクール 校長 元滋賀学園中学・高等学校 校長 エフエムひこねコミュニティ放送株式会社 創設 滋賀県出身</p>
<p>中西正文</p> 	<p>経営・教育アドバイザー / 学校法人 理事候補</p> <p>早稲田大学法学部卒業後、1995年、博報堂入社</p> <p>株式会社Kids Smile Holdings (東証マザーズ上場) 代表取締役 都内中心にプレスクール・認可保育園(66園)・学童含む73施設を運営</p>

アドバイザー

<p>安居長敏</p> 	<p>教育アドバイザー</p> <p>(元立正大学心理学部 教授) 日本選択理論心理学会会長</p>
<p>Alessandra Milani</p> 	<p>教育アドバイザー/海外連携</p> <p>プレスクール、ダンテ・アリギエーリ協会東京支部「GGDA」創設者 レッジョ・エミリアのメソッドを使ったレッジョ・アプローチ教育を実践</p>

## 2.学校概要

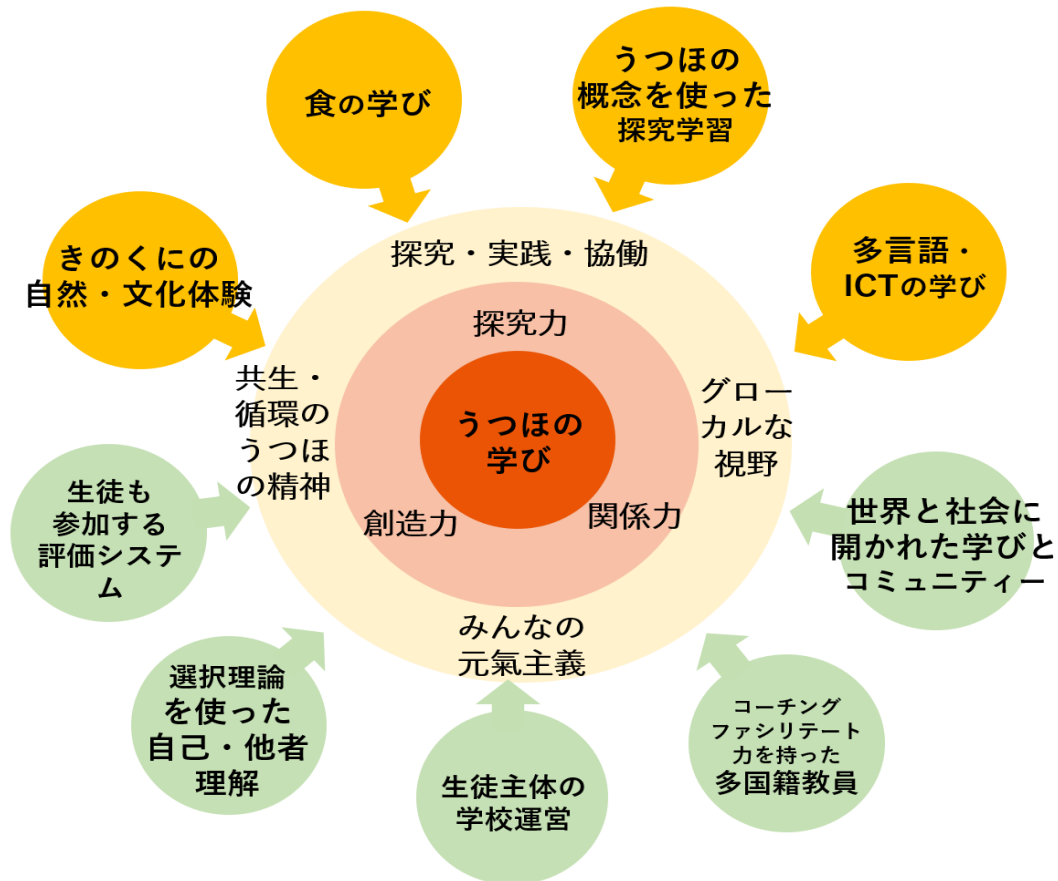
小学校 定員	180名（一学年30名）想定
中学校 定員（検討中）	90名（一学年30名）想定
学費（検討中）	1年間65～70万円＋設備管理費＋教材費 他（給食費＋バス）
必要敷地面積	校舎 小学校1200㎡＋中学校900㎡以上、運動場3600㎡以上
参考：文科省の設置基準 必要な敷地面積	小学校（定員180名に対し） 校舎1200㎡以上 運動場2400㎡以上 中学校（定員90名に対し） 校舎900㎡以上 運動場3600㎡以上 * 運動場は小・中一貫校の場合は大きい方の面積を適応
小・中学校に備えるべき施設	一 教室（普通教室、特別教室等とする。） 二 図書室、保健室 三 職員室 小・中学校には、校舎及び運動場のほか、体育館を備えるものとする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。
	* 二川小学校 校舎面積1802㎡ 土地面積 9524㎡

## 学校・カリキュラムの概要

学校の特長と教育内容	探究型バイリンガル教育を特徴とする小・中一貫校。和歌山の郷土と風土を基盤とした探究・実践・協働的に設計した「探究授業」を中心に、「食の授業」、「きのくにの体験授業」、英語の時間以外に美術、体育なども英語で行う「イメージング授業」を特徴とする。具体的には国際バカロレアのカリキュラムをベースに、科目横断の概念学習を用い、将来的にIB国際バカロレア認定校を目指す。地域との連携に加え、海外の学校とも提携するなど、グローバルと和歌山、ローカル社会を繋げる役割もになった学校運営を行う。
セールスポイント	私立小学校受験者は年々増えており、首都圏（1都3県）においては2020年から2021年に掛けて1割（2万753人→2万2689人）増加しており、より早い段階からの教育への関心と需要の高まりともう一方で子育て世代の地方への移住の需要も高まる中、学校がないことが踏みとどまる要因となっている。2022年現在、日本語と英語のバイリンガル一条小学校は全国的に約15校（関西は1校）であり、他はインターナショナルスクールと、選択肢が限られている。和歌山初のバイリンガル校としての県内の新たな教育選択肢となることと同時に全国的な探究学習とグローバル教育への受け皿となると考える。

### 3. 教育理念

建校の目的	うつほの学びで人とまちを元気にする
目指す教育	日本発グローバル教育（国際バカロレア（IB）認定校を目標）
目指す人物像	グローバルとローカルの視野を持った価値創造リーダー
教育理念	<p><b>共生・循環のうつほの精神</b>            学習者自身と、日本や周辺の自然、社会、文化の「うつほ=万物を生み出す源」であるうちに秘めた力や可能性に目を向け、うつほを伸ばし、磨き、強みとする学びを行います。また日本古来の考え方である自然との共生や命の循環を大事に考え、感謝と思いやりの心を大事にします。</p> <p><b>みんなの元氣主義</b>            日本をはじめ東洋では活動の源となる氣の巡りを大事にしてきました。学校コミュニティに関わる全ての人が自分の氣を自己管理し、全員が元氣=ウェルビーイングな状態である学びの環境づくりを大事にします。</p> <p><b>グローバルとローカル視野</b>            学校がグローバル社会を全体に、世界とローカルな地域社会両方とシームレスに繋がり、知識と理解を広め、多言語で対話する学びによりグローバルな視野を持ちます。</p> <p><b>探究・実践・協働の学び</b>            学習者主体に思考を深めていくことを教師がサポートしながら学習者同士が協同で学び、フィールドワークを大切に、社会に開かれ協働的である学びを具体化します。</p>
注力する3つの力	<p><b>関係力</b>            世の中の多様性と複雑性を理解し、社会性を持って繋がり関わり合っていく力</p> <p><b>探究力</b>            好き（数寄）や遊び（すさび）から問いを見つけ自分ごと化し、深く思考しながら学び探究し続ける力</p> <p><b>創造力</b>            志と問いをもって世の中に働き掛け、形にしていく力</p>



## 国際バカロレア(IB)とは

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置される。現在世界にある認定校は4700校、内日本は172校(2022年現在)3歳～18歳の年齢に合わせ、PYP(幼稚園+小学校),MYP(中学校-高校1年),DP(高校2,3年)の3つのカリキュラムがある。

日本では文部科学省がグローバル人材育成の観点から、我が国における国際バカロレア(IB)の普及・拡大を推進しており、平成30年度から、文部科学省IB教育推進コンソーシアムが立ち上がっている。認定校になるには、候補校として最低2年間の移行期間と審査を経る必要がある。

### より良い平和な世界を築くために貢献する人材育成



### 国際バカロレアが掲げる10の学習者像

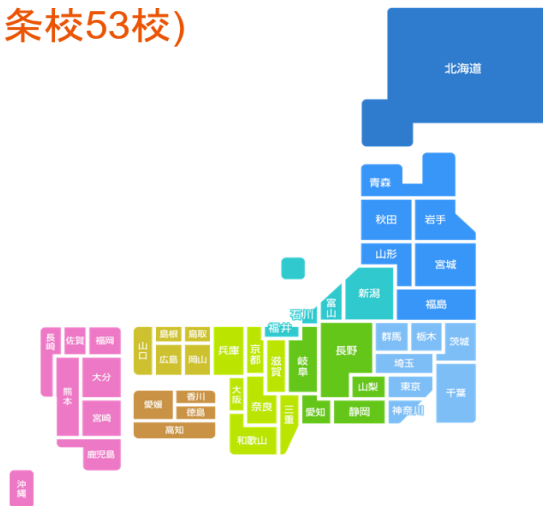
### 日本の国際バカロレア普及状況

全国 **172** (一条校53校)

小学校PYP **8**

関西PYP **1**  
一条校:同志社国際学院初等部のみ

和歌山 **0**  
PYP・MYP・DP含め  
(令和3年9月30日時点候補校含む)



### 一条校53校(公立・国立・私立)リスト

**北海道** :市立札幌開成中等教育学校

**東北**:宮城県仙台二華中学校・高等学校、  
仙台育英学園高等学校、秀光中学校、茗溪学園高等学校

**関東**:開智望小学校、ぐんま国際アカデミー、さいたま市立大宮国際中等教育学校、昌平中学校・高等学校、筑波大学附属坂戸高等学校、開智日本橋学園中学・高等学校、玉川学園中学部・高等部、東京学芸大学附属国際中等教育学校、東京都立国際高等学校、武蔵野大学附属千代田高等学院、町田こぼと幼稚園、神奈川県立横浜国際高等学校、法政大学国際高等学校、

**中部**:聖ヨゼフ学園小学校、三浦学苑高等学校、栗原学園やまた幼稚園、山梨学院幼稚園、山梨学院小学校、山梨学院高等学校、山梨県立甲府西高等学校、インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢、松本国際高等学校、天周学園 若草幼稚園、サニーサイドインターナショナルスクール、加藤学園暁秀中学校・高等学校、エンゼル幼稚園、静岡サレジオ幼稚園、静岡サレジオ小学校、名古屋国際中学校・高等学校、東海学園高校、

**関西**:滋賀県立虎姫高等学校、同志社国際学院初等部、立命館宇治中学校・高等学校、大阪女学院高等学校、大阪教育大学附属池田中学校、大阪市立水都国際中学校・高等学校、育英西中学校・高等学校、AIE国際高等学校、

## 4. カリキュラムのイメージ

理科・社会を含む各科目を年間6つのプロジェクト学習の中で科目を横断的に学ぶ

	月	火	水	木	金
1限	子ども全校会議	英語	国語	算数	算数
2限	算数	ICT	算数	英語	美術
3限	英語	算数	食	体育	英語
4限	国語	体育		国語	国語
5限	探究学習	探究学習	探究学習	探究学習	探究学習
6限					

\* 緑は英語（イマージョン授業）

## カリキュラムの特長

### 1. 国際バカロレア (IB) の6つの探究領域と概念を使った探究学習

探究学習の授業では以下の6つの領域を一年間で6つの探究の授業を通じて学ぶ。  
6年生の最後にはエキシビションと呼ばれる個人ごとの探究発表を行う。

私たちは何者か。

Who we are ?

私たちはどのような場所と時代にいるのか。

Where we are in the place and time?

私たちはどのように自分を表現するのか。

How we express ourselves

世界はどのような仕組みになっているのか。

How the world works

私たちは自分をどう組織しているのか。

How we organize ourselves

この地球を共有すること

Sharing the planet.

使う概念

・特徴・機能・原因・変化・関連・視点・責任・振り返り

### 2. イマージョン教育

多言語教育の一環とし、語学としての英語の授業のみならず、体育、音楽、算数などの授業も多言語（日本語＋英語）で行う。

### 3. 食の授業

ガーデン（食育菜園・田・家畜）・キッチン（調理室）・テーブル（学校食堂）の3つの場所で行う食の授業。6つの探究領域と季節を掛け合わせ、食を通じたグローバル＆サステナブル教育を行う。

### 4. 子ども全校会議

週に一度の全校会議では、学校内の問題や学則、季節のイベントを生徒が中心となって解決していく。ベースには選択理論の考え方を使う。

### 5. 学校食堂

普段の昼食は学校食堂で食する。学校外にも開放され、近隣の住民との繋がり場として機能する。

### 6. きのくにタイム（自然・文化体験授業）

和歌山の自然環境と郷土を活かした課外体験授業。熊野古道ハイキング、高野山訪問、キャンプなど



## 5.うつほの杜学園の将来ビジョン

うつほの杜メソッドで培った教育方法を、幼児教育、また外部からの生徒も受け入れる地元の探究型学童への展開していく他、熊野古道という立地を活かし、一般に開かれたバイリンガルのサマースクールを開き、観光やワーケーションとの連動を行う。

### うつほの未来ビジョン



### 紀南の学びの拠点



### 鎮守の森としての未来の地域学校

地域を守り、エネルギーと人が集まる拠点とし、学校食堂を中心にした地域の売店機能をはじめ、物流業界の2024年問題で問われる限界集落への宅配問題の糸口として注目されているドローン宅配拠点、そして自然エネルギー発電により、災害時の地域エネルギーの確保など、Society5.0に備えた設備機能を整えていく。

### 地域売店・食堂・マルシェ

防災拠点



文化活動拠点

地域図書館/スポーツ

地域自然エネルギー  
発電拠点



太陽光発電

小水力発電

  
地域を守り、人が集まる  
鎮守の森としての  
学校

ドローン宅配  
サービス拠点



例：株式会社NEXT DELIVERY  
新スマート物「SkyHub®」

## 6.学校カリキュラム・特徴比較

エリア	一条校	形態	定員 一学年	認定/教育の特長	高校進学対策	教育の特長				学校環境				授業料	特徴・メモ
						グローバル教育・英語教育	探究 (PBL主体)	自然課外活動	食の授業	社会にオープンな学校 コミュニティー	通学のし易さ	自然環境	生活環境 (交通)		
和歌山 田辺市	うっほの杜学園(仮)	○	中学まで	30名	バカロレア認定校を目標	総合入試	○	○	○	○	△	○	田辺市街地・白浜から35分 白浜空港 開空2時間	60-70万円	熊野古道・白浜温泉など歴史・文化・観光拠点にあるという立地の強み IB/バカロレア認定校を目標
長野	大日向小学校	○	中学まで	30名	イェナプラン	中学まで、総合入試	△	○	○	○	△	○	首都圏2時間半	42万円 入学金:100,000円 施設維持費:年額 20,000円 教材費:年額 24,000円	長野県佐久市佐久穂町に2019年開校 イェナプラン 8割が移住者の注目学校
長野	風越学園	○	中学まで	35名	PBLを特徴とした独自カリキュラム	中学まで、総合入試	△	○	○	○	△	○	首都圏2時間半	54万円 施設費 年額10万円 入学金:100,000円 教材費 年額2万4000円	軽井沢別荘地内 オリジナルカリキュラム 8割が移住者の注目学校
和歌山 橋本市	きのくに子どもの村学園	○	殆ど中学まで	20名	自由教育・独自カリキュラム	無し	△	○	○	△	×	○	×	89万円 ③諸費用※2(年間)通学生 239,400円(通学バス代、昼食代など)寮生 693,000円(寮管理費、食費など)入学金:240,000円	橋本市から山の中へ25分 自由教育 学校法人
和歌山 和歌山市	智辯和歌山市	○	高校まで	80名	進学校	高校までエスカレート、一般入試	△				○	○	開空1時間内・大阪2時間	45万円 施設費 年額18万円 入学金:200,000円	
和歌山 紀の川市	わかやまシュタイナー学園		中学まで	4名	シュタイナー教育	無し	△	△	○	○	△	○	開空1時間内・大阪2時間	54万円 入学金:450,000円	
京都	同志社国際学院初等部	○	高校まで	50名	バカロレアPYP	高校までエスカレート	○							85万円 教育充実費:150,000円 教材費:4,000円	
兵庫	関西国際学園		高校まで	16名	バカロレアPYP	エスカレート	○	バイリンガル	○				神戸市内	182万円 入学費:100万円	
大阪	Osaka YMCA International		高校まで	20名	バカロレアPYP	エスカレート	○	英語のみ	○				大阪市内	127万円 入学金:250,000円 施設費 年額18万円	インターナショナルスクール 認可外
大阪	Osaka International School of Kwansei Gakuin			20名	バカロレアPYP	中・高姉妹校	○	英語のみ	○				千里中央	179万円 入学金:235,000円 施設費 年額18万円	インターナショナルスクール(CIS) 認可外
福岡	リンデンホールスクール	○	高校まで	50名	バカロレアPYP	高校までエスカレート	○	バイリンガル(英語主体)	○	△			博多駅から45分	108万円 入学金:300,000円 教育充実費:350,000円 施設充実費:350,000円	福岡市郊外住宅地 IB × イマージョン 国語以外英語
岩手	ハロウ安比ジャパン		高校まで	72名	ハロウ英国式教育	高校までエスカレート	○	英語のみ	△	○			安比高原	800万円	安比高原スキー場
茨城	開智望小学校	○	高校まで	120名	バカロレアPYP	高校までエスカレート	○	バイリンガル(日本語主体)	○				首都圏1時間	40万円 入学金:450,000円 施設費 年額52000円	茨城県バカロレア小学校・中学校 学校法人
静岡	聖隷クリストファー小学校	○	高校まで	60名	バカロレアPYP	高校までエスカレート	○	バイリンガル(日本語主体)	○				新幹線	66万円 入学金 180,000円(入学金70,000円 施設費110,000円)	静岡県 浜松市 IB × イマージョン 国語、社会以外英語
広島	AICインターナショナルスクール		高校まで	20名	バカロレアPYP	高校までエスカレート	○	英語のみ	△				広島市内	138万円(年額) 115,000円(月額)	
岐阜	サニーサイドインターナショナルスクール	○	小学校まで	24名	バカロレアPYP		○	バイリンガル(日本語主体)	○				岐阜市内	60万円 入学金:¥50,000(本校幼稚園部卒園児) / ¥100,000(外部生) 教材費(年間):¥30,000	岐阜県岐阜市 バカロレア幼稚園・小学校 学校法人
東京	玉川学園	○	高校まで	90名 一般+バイリンガル合わせて	小学校はバイリンガルコースあり、6年よりバカロレアMYP	高校までエスカレート	○	バイリンガル(英語主体)	△	○			◎	80万円-6年生から84万円 バイリンガルコース 173万円 教育諸料 141,500円 入学金 220,000円 施設設備金 160,000円	IB国際バカロレアMYP導入 東京郊外住宅地

## 7.授業料・給与シミュレーション

円

入学金		200000
初等部授業料	800,000	
中等部授業料	850,000	
施設設備資金	100,000	
教材費	35,000	
<b>初年度費用計</b>	<b>935,000</b>	
受験料	20,000	
教員平均年収	5,000,000	
職員平均年収	5,000,000	
給食代	150,000	
バス代	100,000	
教員		
学園長	1	8,000,000
副校長/カリキュラムマネージャー	2	7,000,000
		15,000,000
初等部教員	15	
養護教員	1	
ICT/音楽(業務委託など)	2	
職員	3	

## 8.生徒数・教職員数シミュレーション

生徒数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
新規入学者数定員	100	25	25	25	25	25	25
初等部定員	100	125	150	175	150	150	150
初等部在校生	50	73	98	138	138	138	138
<b>生徒合計</b>	<b>50</b>	<b>73</b>	<b>98</b>	<b>138</b>	<b>138</b>	<b>138</b>	<b>138</b>
充足率	50%	58%	65%	79%	90%	90%	90%
<b>教室数</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>6</b>
初等部教員数	7	9	12	15	15	15	15
職員数	2	2	2	2	2	2	2
校長・管理職	3	3	3	3	3	3	3
<b>教職員合計</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>17</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>

初年度は1年生2クラス、2,3年生1クラスで募集

## 9.活動収支シミュレーション

凡例

黒字: 別セルの数値を用いて計算した結果

青字: 別シートから参照

緑字: 数値ベタ打ちorセル内で計算

	単位	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
<b>事業活動収入</b>	円	<b>66,350,000</b>	<b>95,535,000</b>	<b>127,910,000</b>	<b>179,710,000</b>	<b>179,710,000</b>	<b>179,710,000</b>
<b>学生生徒等納付金収入</b>	円	<b>46,750,000</b>	<b>68,255,000</b>	<b>91,630,000</b>	<b>129,030,000</b>	<b>129,030,000</b>	<b>129,030,000</b>
<b>授業料</b>	円	40,000,000	58,400,000	78,400,000	110,400,000	110,400,000	110,400,000
初等部生徒一人あたり授業料	円/人	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
初等部生徒数	人	50	73	98	138	138	138
<b>入学金</b>	円	0	0	0	0	0	0
生徒一人あたり授業料	円/人	0	0	0	0	0	0
新規入学者数	人	60	23	25	27	27	27
<b>施設設備資金</b>	円	5,000,000	7,300,000	9,800,000	13,800,000	13,800,000	13,800,000
生徒一人あたり施設設備資金	円/人	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
生徒数	人	50	73	98	138	138	138
<b>教材料</b>	円	1,750,000	2,555,000	3,430,000	4,830,000	4,830,000	4,830,000
生徒一人あたり教材費	円/人	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
生徒数	人	50	73	98	138	138	138
<b>手数料収入</b>	円	<b>1,600,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>
<b>入学検定料</b>	円	1,600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
受験者あたり入学検定料	円/人	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
受験者数	人	80	50	50	50	50	50
新規入学者数	人	100	25	25	25	25	25
倍率	倍	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
<b>寄付金収入</b>	円	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
平均寄付額	円/団体	0	0	0	0	0	0
寄付団体数	団体数	0	0	0	0	0	0
<b>補助金収入</b>	円	<b>18,000,000</b>	<b>26,280,000</b>	<b>35,280,000</b>	<b>49,680,000</b>	<b>49,680,000</b>	<b>49,680,000</b>
<b>地方公共団体補助金</b>	円	18,000,000	26,280,000	35,280,000	49,680,000	49,680,000	49,680,000
生徒一人あたりの年間補助金	円	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
<b>付随事業・収益事業収入・雑収入</b>	円	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
補助活動収入	円	0	0	0	0	0	0
<b>事業活動支出</b>		<b>92,264,274</b>	<b>105,376,239</b>	<b>127,878,376</b>	<b>155,721,795</b>	<b>155,721,795</b>	<b>155,721,795</b>
<b>人件費</b>	円	<b>71,760,000</b>	<b>83,260,000</b>	<b>100,510,000</b>	<b>123,050,000</b>	<b>123,050,000</b>	<b>123,050,000</b>
<b>教員人件費</b>	円	63,135,000	74,635,000	91,885,000	111,550,000	111,550,000	111,550,000
管理職	人	19,900,000	19,900,000	19,900,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000
教員あたり給与	円/人	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
法定福利費率	%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%
教員数	人	7	9	12	15	15	15
<b>職員人件費</b>	円	8,625,000	8,625,000	8,625,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000
職員あたり給与	円/人	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
法定福利費率	%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%
職員数	人	2	2	2	2	2	2
<b>経費</b>	円	<b>20,504,274</b>	<b>22,116,239</b>	<b>27,368,376</b>	<b>32,671,795</b>	<b>32,671,795</b>	<b>32,671,795</b>
<b>消耗品費</b>	円	2,649,573	3,868,376	5,193,162	7,312,821	7,312,821	7,312,821
生徒あたり消耗費	円/人	52,991	52,991	52,991	52,991	52,991	52,991
生徒数	人	50	73	98	138	138	138
<b>光熱費</b>	円	3,000,000	3,000,000	3,500,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
生徒あたり光熱費	円/人	0	0	0	0	0	0
生徒数	人	50	73	98	138	138	138
<b>業務委託料など</b>	円	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
<b>保険料</b>	円	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
<b>地代</b>	円	0	0	0	0	0	0
<b>修繕費</b>	円	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
<b>通信運搬費</b>	円	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
<b>公租公課</b>	円	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
<b>会議費・交通費</b>	円	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
<b>図書費</b>	円	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
<b>奨学金</b>	円	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
<b>研究・IBパカロレア</b>	円	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
<b>減価償却費</b>	円	0	0	3,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
<b>その他雑費</b>	円	854,701	1,247,863	1,675,214	2,358,974	2,358,974	2,358,974
生徒あたり雑費	円/人	17,094	17,094	17,094	17,094	17,094	17,094
生徒数	人	50	73	98	138	138	138
<b>教育活動収支差額</b>	円	<b>-25,914,274</b>	<b>-9,841,239</b>	<b>31,624</b>	<b>23,988,205</b>	<b>23,988,205</b>	<b>23,988,205</b>
			<b>2年間赤字合計</b>	<b>-35,755,513</b>			

定員180人(一学年30人)に対し、120人(一学年20人)が損益分岐点

## 10.必要な資金と調達方法

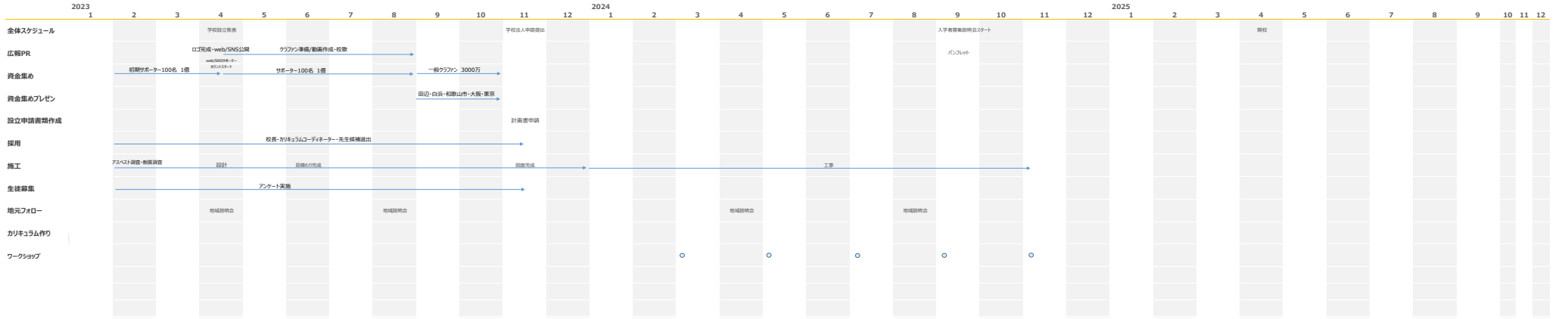
必要な資金		金額	調達の方法	金額
準備 資金	人件費(2024年以降)	3,000	自己資金	1,000
	カリキュラム製作	700		
	バカロレア申請費	500	寄付金	企業からの寄付 11,000 個人からの寄付金 3,000
	メディア製作	400		
	記録費	100		
	求人・広告費	300		
	交通費等諸経費	200		
	備品(家具・什器)	1,000		
	本(初年度1000冊)	200		
	合計			
運転 資金 (別紙 収支計 画を参 照)	初年度	2,600		
	2年度	1,000		
	合計	3,600		
	予備運転資金	1,400		
合計(万円)		15000	合計(万円)	15000

11.資金調達・助成金案

寄付	企業からの寄付	公益財団法人わかやま地元元力応援基金内に学校設立基金窓口を設置 申請中 <a href="http://jimotofund.jp/">http://jimotofund.jp/</a>
	個人からの寄付	和歌山県ふるさと納税型クラウドファンディング 2023年版 応募予定 <a href="https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/d00203813.html">https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/d00203813.html</a>
助成金		和歌山県 紀州材公共施設木造木質化モデル事業 紀州材を使用して行う公共施設等の木造・木質化、又は公共施設等の木製品整備への支援 参考:令和4年度 補助限度額 施設の木造・木質化、木製品整備 15,000千円/事業主体 (補足)ただし、木製品整備のみを行う場合、10,000千円/事業主体 地盤改良 3,000千円/事業主体
		公益財団法人わかやま産業振興財団 わかやま地域課題解決型起業支援補助金 県内における社会的事業の分野において、地域課題の解決を目的として新たに起業する者及びSociety5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野での事業承継又は第二創業する者に対して、起業、事業承継または第二創業に必要な経費の一部を補助 参考:令和4年度 程度限度額:2,000千円

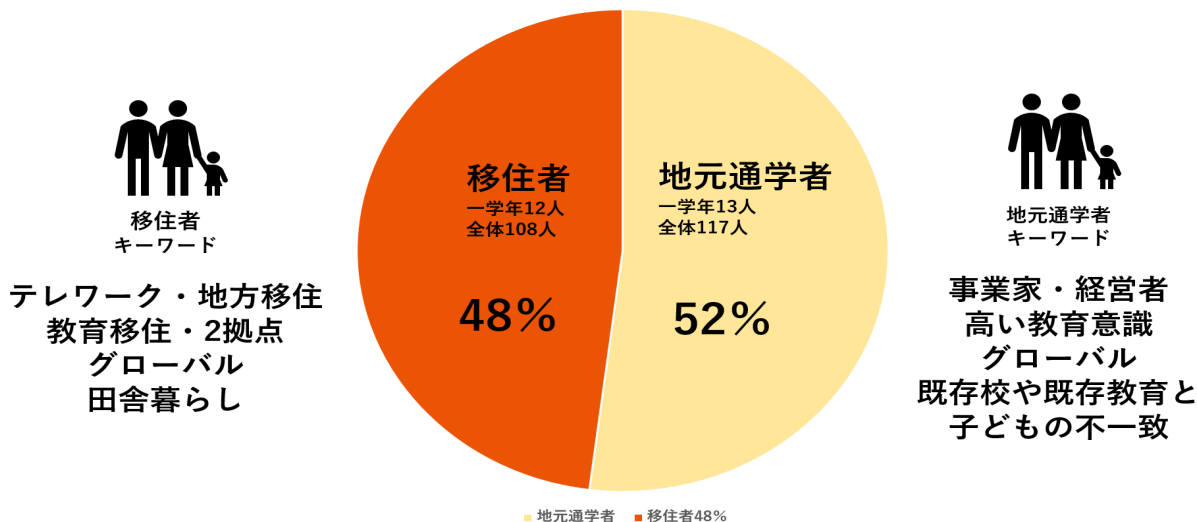
お声がけ済 寄付ご賛同企業様	株式会社プラス様
	株式会社アワーズ様
寄付金声掛け予定企業 (参考)	中西金属工業株式会社様(大阪)
	HTG株式会社様(大阪)
	中野BC株式会社様
	菱岡工業株式会社様
	センゴクベンダー株式会社
	株式会社島精機製作所
	株式会社オークワ様
	株式会社紀陽銀行
	株式会社ウフル様
	株式会社セールスフォース様
	中田食品株式会社様
	株式会社タカショー様
	松三建材株式会社様
	株式会社日本ユニスト
	株式会社カワ様
	株式会社生活の木様

うつほの社学園（仮）小・中学校設立スケジュール



### 13.入学想定者・教育移住によるまちへのインパクト

入学想定者のターゲットとキーワード



#### ◇教育移住によるまちへのインパクト◇

想定移住者 **年間 20-30人 (8-10世帯)**

全学年で**180-270人 (72-100世帯)**

想定支出額

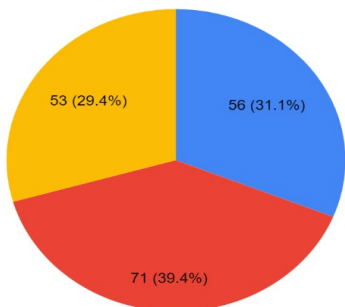
**年間 2億6422万-3億6697万円**

参照：総務省「家計調査」 2人以上の勤労者世帯の消費支出月平均305,811円

事例：長野県 大日向小学校 初年度2019年 移住世帯数 約40世帯  
 (初年度80名入学者の内8割が移住者)

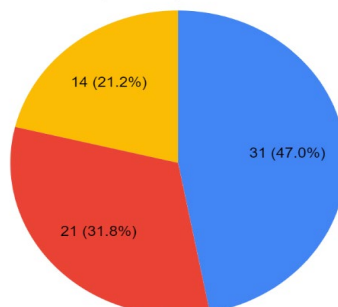
#### ワカヤマスコロラボ独自アンケート:教育移住の可能性

教育移住の可能性(全体)



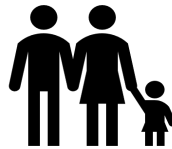
教育移住の可能性(首都圏)

● ありえる  
 ● ない  
 ● 分からない



● ありえる  
 ● ない  
 ● 分からない





## 想定移住者層→世帯年収800万円以上のテレワーク実施層

参考データ①公立・私立小学校進学家庭の年収段階別構成比

私立小学校進学家庭の76.6%が世帯年収800万円以上

図6 世帯の年間収入段階別構成比

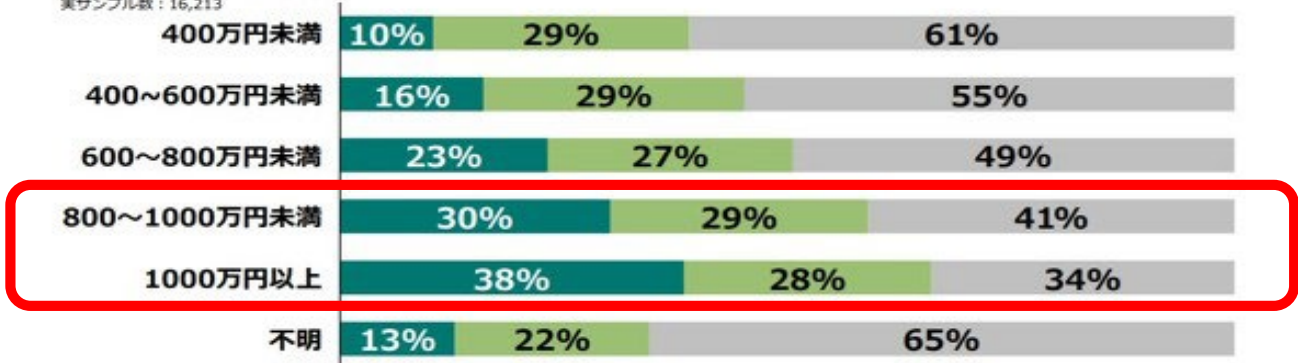


(資料) 文部科学省「子供の学習費調査」より作成

参考データ②年収とテレワーク実施率の相関関係図

### 年収別テレワーク実施率 (スクリーニング調査/会社員・公務員のみ/単一回答)

■ テレワーク実施中 ■ テレワーク導入を考えている/興味がある ■ テレワーク導入に興味がない/仕事の性質上導入は困難  
 ウェイトバック後サンプル数：13,724,056  
 実サンプル数：16,213



※ スクリーニング調査/関東1都6県・長野県・山梨県在住者/会社員・公務員を対象  
 ※ 各数値は小数点第一位での四捨五入値

## 14.全国の教育移住事例

### 教育移住の事例



#### 大日向小学校・中学校しなのイエナプラン

長野県佐久穂町

イエナプランを導入した探究型カリキュラム 私立小学校

全校定員270人(初等部：180人) 学費：44万円

<https://www.jenaplanschool.ac.jp/>

**80%が移住者**



#### 軽井沢風越学園

長野県軽井沢

探究型カリキュラム 私立幼稚園・小・中学校

全校定員：315人(初等部：210人) 学費：64万円

<https://kazakoshi.ed.jp/>

**80%以上が移住者**

### 教育移住の事例 和歌山県

新型コロナ後、都内からの問い合わせ・志望者の数は増加！



#### きのくに子どもの村学園

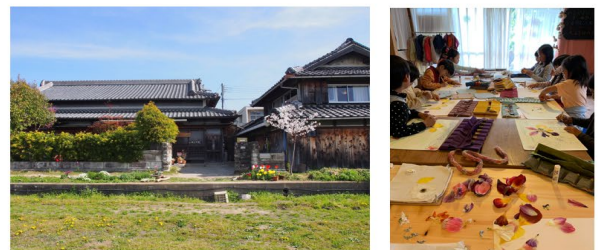
和歌山県

探究型カリキュラム 私立小・中・高校

全校定員：240人(小学校120人) 学費：89万円

[www.kinokuni.ac.jp](http://www.kinokuni.ac.jp)

**90%以上が他府県の生徒**



#### わかやまシュタイナー学園

和歌山県紀の川市

シュタイナー教育 幼稚園・小・中 学費：54万円

<https://wakayama-sg.org/>

**90%以上が移住者**

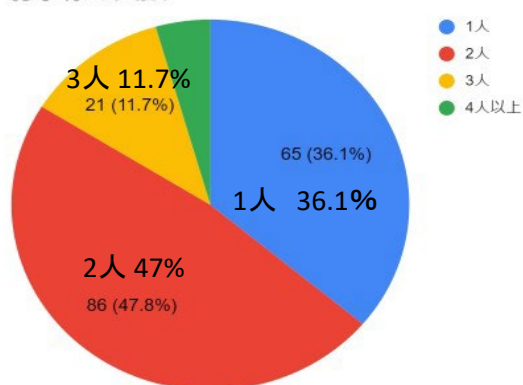
## 15. 教育・学校意識調査ワカヤマスコラボ独自アンケート

対象:こどもがいる親(ワカヤマスコラボ応援コミュニティとそこからのシェア)  
 回答数:192名 実施期間:12/13(月)~12/17(金)の5日間

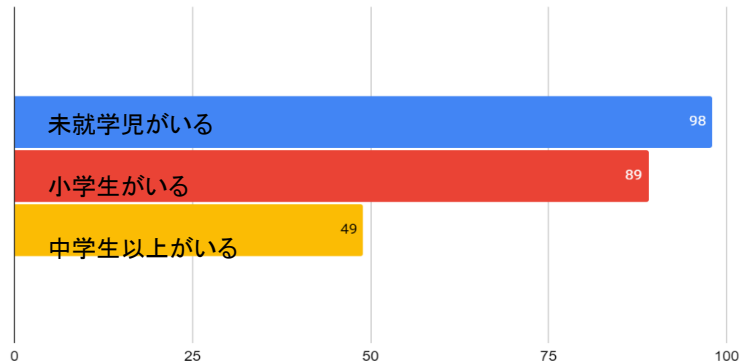
和歌山県 38% 関西圏10% 首都圏37% その他15%

性別 女性:62.8% 男性:37.2%

お子様の人数

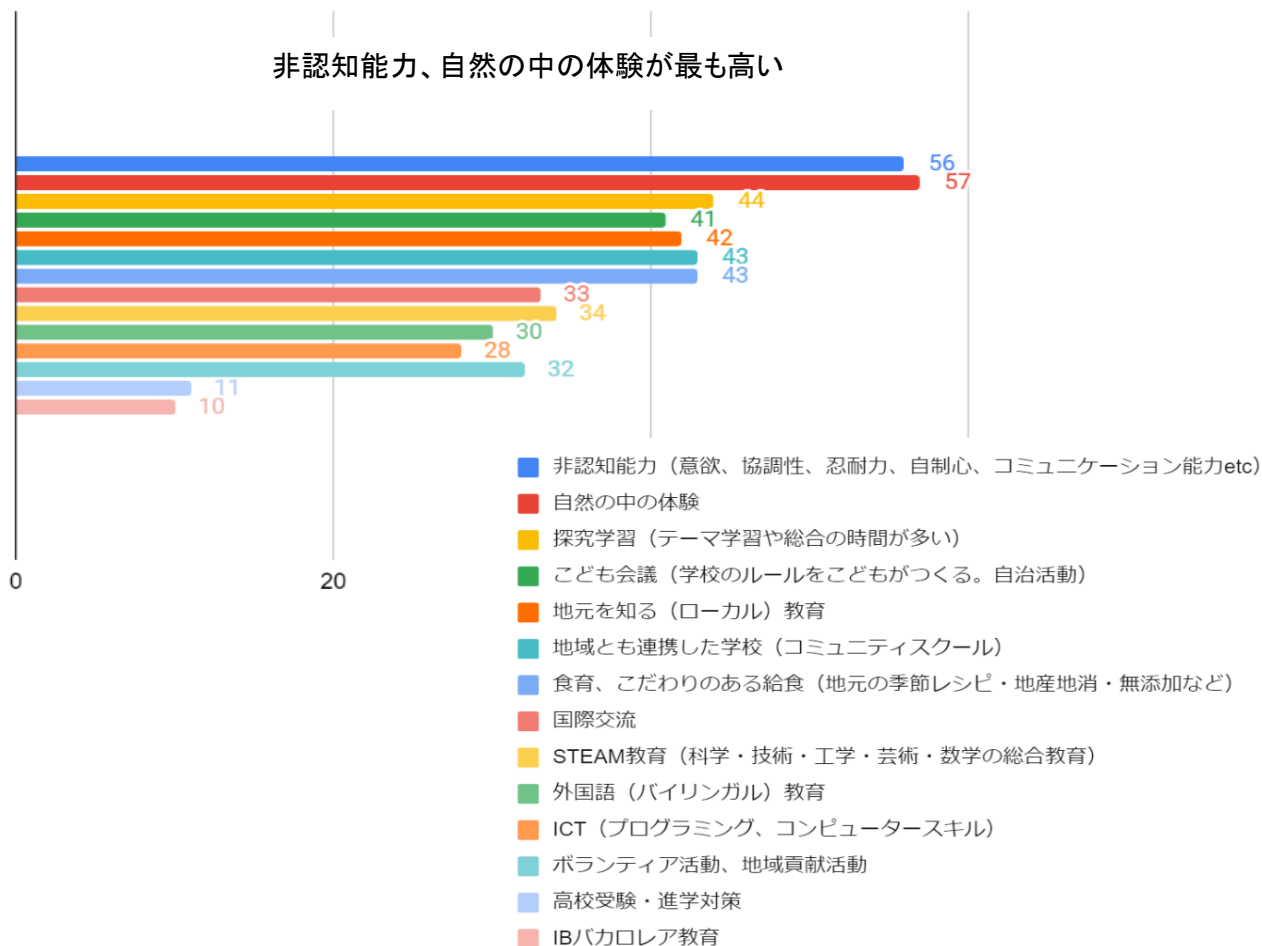


未就学児がいる 小学生がいる 中学生以上がいる

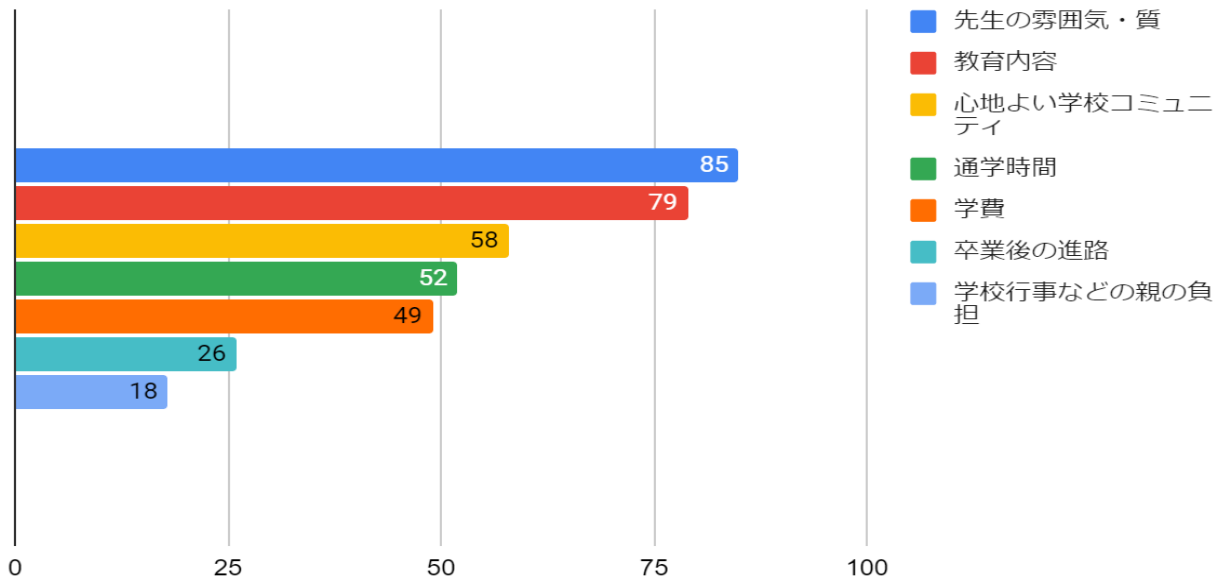


## 教育内容で大事なものの

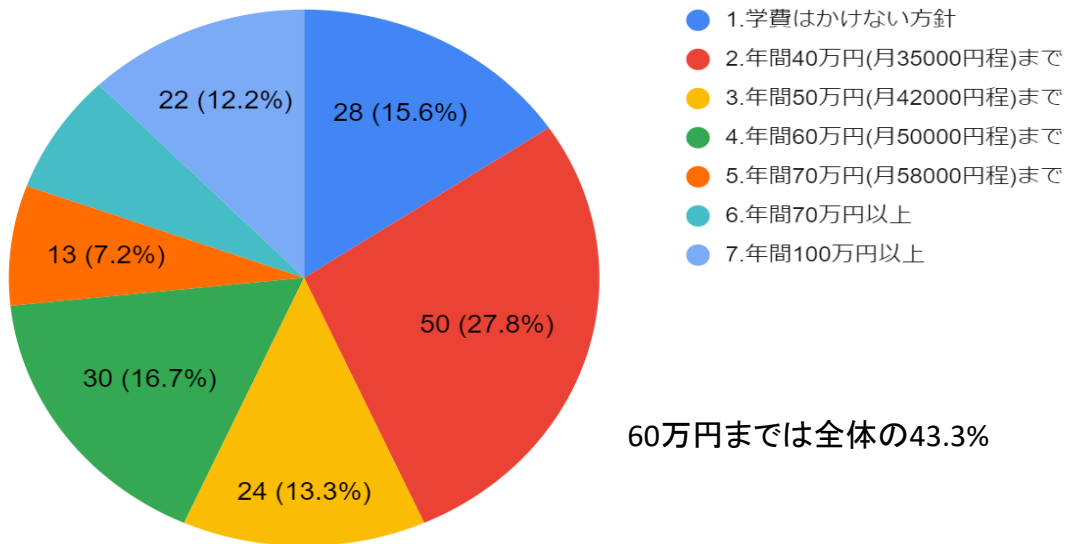
非認知能力、自然の中の体験が最も高い



## 親としての懸念事項

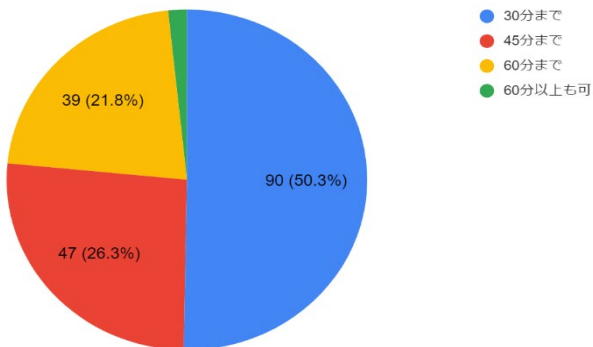


## 学費の許容範囲(全体)

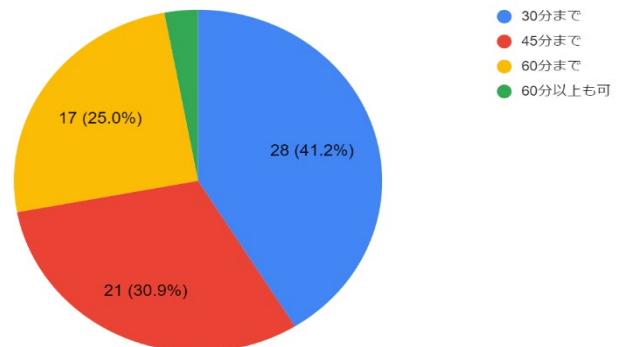


60万円までは全体の43.3%

## 通学時間(片道/スクールバス含む)(全体)



## 通学時間(片道/スクールバス含む)(和歌山)

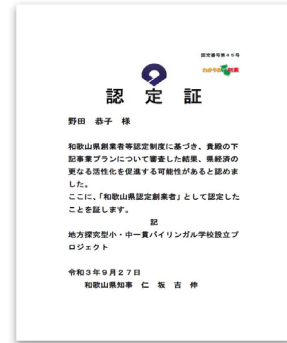


通学時間45分未満ならの回答は全体で49.7%,和歌山では58.8%

## 16. 活動の軌跡

2021年2月 活動開始/FACEBOOKにてコミュニティー立ち上げ(2022年9月現在参加者321人)

2021年7月 一般社団法人ワカヤマスコラボ設立



2021年9月 学校設立プロジェクトが和歌山県認定創業者として認定

2021年9月 オンライントークライブ  
第一回 2021/9/3  
with きのくに子どもの村学園現役高校生  
参加者12名



2021年9月 みかん教室  
第一回 2021/9/25 親子探究ワークショップ  
in有田川 The living room & 早和果樹園  
参加者: 15人



2021年10月 オンライントークライブ第二回 2021/10/15  
with りら創造芸術高等学校 鞍教頭先生  
参加者: 7名



2021年10月 GLOCAL KIDS CAFÉ第一回 2021/10/24  
和歌山とシンガポール交流ワークショップ参加者:  
15名



2021年11月 オンライントークライブ第三回 2021/11/19  
with 和歌山シュタイナー学園 三木代表  
参加者: 11名



2022年1月 学校構想プレゼン&セミナーin和歌山市  
2022/1/29  
スピーカー: 仙石恭子・石川一郎先生  
参加者: 20名



2022年2月 オンライントークライブ第四回2022/2/25  
阿曾琴美さんとお母さまに聞く『理想の教育』とは?  
スピーカー: 阿曾琴美さん親子・仙石恭子  
参加者: 9名



オンライントークライブVol.4  
モンテッソーリ教育、中華学校、シュタイナー教育で学んだ  
和歌山大好き 筑後大学生の先輩  
阿曾 琴美さんとお母さまに聞く  
理想の学校選びと子育てとは?!



2022年9月 学校構想プレゼン&セミナーin田辺市  
2022/8/8  
スピーカー: 仙石恭子・石川一郎先生  
ゲストスピーカー: 中村美奈子氏  
参加者: 60名

